

公表

## 事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

○事業所名	伊勢市おおぞら児童園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日		令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月6日		令和8年1月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士・言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士等)が連携して多角的な視点で、評価・支援を提供しています。	多職種で支援方法を検討し、支援に最適な職種の職員で訪問をしています。	今後もニーズに合わせて多職種で連携をとりながら支援していきます。また、外部研修会への参加や事業所内での職員研修を実施し、支援の質の向上を図っていきます。
2	多機能型の児童発達支援センターのため、児童発達支援や放課後等デイサービスなど様々な視点から情報共有を行えます。	児童発達支援や放課後等デイサービスの療育時の様子も合わせた評価を行い、保育所等訪問支援を実施しています。	今後も当園の療育を利用していない子どもは、他の事業所等での様子を見学したり情報共有したりし、保育所等訪問支援を実施していきます。
3	多機能型の児童発達支援センターのため、訪問支援に必要な教具教材が整っており、効果的な支援に利用できています。	療育担当職員と、教具教材の使い方について検討や情報共有を行っています。また、訪問先の職員に、教具教材を使って、具体的に支援方法を提案しています。	今後も、支援に使用する教具教材について検討し、具体的に支援方法を伝えるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援員は他の業務と兼務のため、訪問日の調整が難しいことがある。	保育所等訪問支援以外の業務があるため訪問先との日程・時間調整が難しい事があります。(訪問先も行事等があるため都合が悪い日がある)	訪問先の予定を確認し、できるだけ柔軟に対応できるようにしていきたい。
2	小学校での勤務経験がある職員がいません。	小学校での勤務経験がある職員が配置されていません。小学校への訪問支援の場合は、学校の状況に詳しい職員がいると、より効果的な支援ができると思います。	今後も訪問先の小学校との情報共有や伊勢市こども発達支援室の教員から学校の体制や指導カリキュラムなどについて助言を受けながら支援を行っていきます。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名	伊勢市おおぞら児童園					公表日			
						利用児童数	15	回収数	13
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	62%	0%	0%	38%		多機能型の児童発達支援センターのため、教具教材が整っています。今後は訪問支援実施後の保護者への報告の際に使用した教具教材を見ていただきたいと思います。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%	0%	0%	0%				
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	92%	0%	0%	8%		兼務ではありますが、保育士・言語聴覚士・作業療法士等、多職種を配置しています。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		ニーズに合った職種の訪問支援員が担当しています。		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		ガイドラインの内容を踏まえ具体的な支援内容となるよう、保育所等訪問支援計画を作成しています。		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	77%	0%	0%	23%		保護者学習会やペアレント・トレーニングを実施しており、参加できない方へは必要に応じて資料提供や説明をしています。		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	0%	0%	8%		相談や申し入れには迅速かつ適切に対応しています。		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%				
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		訪問支援後は、訪問先施設の担当者と支援内容について話し合いをしています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		訪問支援報告書を作成し、それをもとに訪問支援での様子を保護者に説明し情報共有をしています。
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	54%	0%	0%	46%		通信や自己評価の結果等をホームページに掲載しています。3月にはおおぞらだより（活動報告）を掲載します。保護者にホームページに掲載していることをさらに周知していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		契約時にかわす個人情報使用同意書に基づき、個人情報の取り扱いには注意しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	77%	0%	0%	23%		緊急時の対応については、訪問先と連携して行います。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	85%	0%	0%	15%		安全計画は園内に掲示しています。今後はさらに保護者に周知していきたいと思っています。
満 足 度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	92%	0%	8%	0%	とても楽しそうに行っています。	子どもが安心できる支援に努めます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	成長がとても感じられています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名		公表日			ご意見	ご意見を踏まえた対応
伊勢市おおぞら児童園		利用児童数		15		
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ			
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	訪問支援だけでなく、直接支援があるので、支援の様子実際に見ることができ、さらにわかりやすく、自分でも取り入れやすいものとなっている。本児の好んだ玩具を見本に、すぐ園でも作って本児に提供することができて良かった。直接目にしたり手にしたりできるので、作ってみようやってみようと思う。園の実態に応じて取り入れやすいものもあればそうでないものもある。日頃、気づいていなかったちょっとした工夫の仕方や声のかけ方など具体的にわかりやすい。子どもの様子や困り感を見て的確で具体的な支援の方法を提案いただいた。具体的にわかりやすかった。すぐに取り入れられるものをご提案いただき助かっている。保育の流れ等見て頂いたので取り入れやすかった。	訪問先の実状をできるだけ把握し、取り入れやすい具体的な支援の提案をしていけるよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	専門的な知見に基づき、支援いただけるのでありがたい。実際に効果が出ていると感じ、その知識・技術等に満足している。なぜ、どうしてを細かく原因を掘り下げて教えていただいたことで本児を理解するヒントになった。療育にあたっては話はとても参考になった。専門的な視点や療育時の様子を聞くことができ、園での支援に活用しやすいこともある。どのような相談にも親身になって考えていただけ、次の支援につなげることができた。保育所での対象児の支援の仕方を認めて褒めていただいたことがあり、大変励みになった。児童の様子を見て具体的なアドバイスを頂いています。的確でありがたい。本児に対して指示が入りにくく困っていましたが、頂いた助言を実践したところ1回で指示が入るようになりました。	
3	訪問支援員は、質問に対して、随時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	訪問支援員の方は丁寧で優しい話し方をしてくれ、安心して質問でき、最終寄り添った姿勢で居てくれる。質問にも適時・適切な回答をいただいている。どんな小さなことでも応えていただき、疑問の解決につながった。もし回答できないことがあったとしても一緒に悩んだり話し合ったりする時間で済ませる。支援員の持論を言われても個に応じていないこともあった。毎回様々な教材や玩具を提案しながら回答をくださり、職員も意欲も向上した。丁寧に回答してくれた。質問に対して療育での取り組み等を紹介しながら答えて頂き参考になりました。	一人一人の子どもの状況や訪問先の意向を踏まえた支援となるよう、職員間で共有し改善してまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消、または軽減されましたか。	86%	7%	7%	放課後に時間を取って学校と訪問支援員の思いや指導の方向性を共有できるので課題解決に有効である。いつも保育士の気持ちに寄り添っていただき感謝しています。助言をもらうことでなるほど！と思うが自分たちの力不足のため解消までには至らない。集団生活における個への支援という面では効果を感じられなかった。園全体としてまた担任保育者にとっても特別な支援が必要なお子さんをどう受け入れていけば良いかが理解できた。保育所等訪問支援を利用したことで、保護者の子どもの関わりや考え方が変わったと思う。前向きに変化した。保護者が変わってくれたおかげで、より保育所での保育（支援）がしやすくなった。詳しく丁寧にご回答いただいています。児童が大きな成長をしております。課題である友達との適切な距離感では少しずつ本児なりに言葉で伝えようとする姿が増えていきました。	今後はより一人一人の特性や状況に合った具体的な支援提案と共有を行い、現場での実践につながる支援になるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	86%	7%	7%	保護者様が支援に対して大変喜んでいて、訪問支援員、家庭、学校が方向性を共有し連携が進むと考えている。大変満足している。訪問日が年間2回は少なかった。訪問支援があることで、閉鎖的にならず成長や困りごとを共有できるのは大変ありがたい。個をよく理解した上で具体的な支援でないのでは効果が認められなかった。児童の課題が明らかで、支援に困っている折には、定期訪問で指導していただける機会がもう少しあると、よりありがたいこととです。毎回職員をほめ、一緒に子どもの成長を喜んでくださったことで安心して保育を続けることができた。満足している。今後ともよろしく願います。本児への関わり方や援助方法は色々模索しながら行っていたので定期的に様子を見ながら助けて頂けて心強かった。	訪問回数についてのご要望を真摯に受け止め、限られた回数の中でもより効果的になるよう内容の充実を図っていきます。対象児童の理解を深めるための情報共有や事前確認を強化していきます。

その他のご意見

- ・今年度は2回のみ訪問であり、来園いただいた担当者がそれぞれ違ったので同じ方が継続してアドバイスをいただいた方がいいのかも思う。巡回の回数が増えれば担当者が複数になってもいいように思うが…。
- ・たくさん療育機関に通所しているので、本児にたくさん関わってもらっている機関に訪問支援事業をしていただくことが、本児の支援のためには、一番いいと思う。
- ・複雑な書類等の手続きがなく大変ありがたい。担当が支援に困り、連絡したときにこのような訪問事業があることを知りました。大変勉強になったと言っていました。もっと早く知っていれば、他の子どもたちにおいても支援で困ったときに、利用させていただいたとも言っていました。このような制度をさらに周知していただくと他校においても大変ありがたいと思います。また、今後とも他の児童においてもご相談させていただくこともあるかもしれませんが、その折は何卒よろしく願います。
- ・学校行事への参加について、不安を抱えていた保護者に対して、具体的な指導方法で教員と保護者が一緒になって支援していく体制づくりができた。
- ・子どもへの関わり方や療育で使用している教具やおもちゃなど丁寧に指導していただいています。保育所という場所では集団の中での保育になるので難しい部分はありますが、個別の療育が大切ということがとてもよく

分かります。

- ・観察後の担任との共有時間の確保が難しいため、保育時間後にあらためて時間をつくってもらっています。園の事情に併せた対応をしていただき、大変助かっています。おかげで落ち着いたなか情報共有ができるため、対象児や教諭にとっても実りがある時間となっています。
- ・1年間、特別支援のお子さんを中心にしながら、様々な子どもについて、どう支援をしていけばよいか、どういう立ち位置で見守っていけば良いかなど、園全体で特別支援について考え、実践していく機会にさせていただきました。ありがとうございました。
- ・定期的に連絡や訪問をしていただき助言をいただくことで、子どもや保護者への具体的な関わり方や対応がスムーズになった。

【ご意見を踏まえた対応】

日頃より、快く保育所等訪問支援を受け入れていただきありがとうございます。また、いただいたご意見を今後の保育所等訪問支援の参考とさせていただきます。

今後も子どもや保護者からのニーズをしっかりと把握し、訪問先の先生方の意向も踏まえた支援の実施につながるよう、今後も先生方と一緒に一人一人の子どもに合った支援方法を考えていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		伊勢市おおぞら児童園			公表日		令和8年 2月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		適切な教員教材を使用しています。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職種や人数は配置されているが、兼務で他の支援も行っているため、訪問できる日は限られています。	職員間で連携し、様々な視点から支援が実施できるようにしていきます。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当者会議・療育会議・職員会議を定期的に行い、支援内容等についてPDCAサイクルによる業務改善を行っています。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回保護者等からの事業所評価を実施し、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげています。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議等で職員から業務改善についての意見を出し合い、その都度改善をしています。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		昨年度より第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていきます。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月園内研修を実施したり、外部研修に参加したりしています。			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員で立案会議を行い、保育所等訪問支援計画を作成しています。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先に事前観察に行った際に担任等の意向を聞き、保育所等訪問支援計画を作成しています。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		令和7年4月より新しいアセスメントツールを使用しています。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問の前後に職員間で話し合いをしています。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で支援内容や役割分担の確認をしています。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に振り返りを行い、支援内容について共有しています。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		事前に訪問先での現在の支援状況を聞き取り、訪問当日も担任等と一緒に考えながら支援を行っています。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○						
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○						

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等関係機関と連携をして支援を行っています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ保護者の了承のもと、支援内容の提供を行い情報共有と相互理解を図っています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部講師から助言を受けたり、外部研修に参加したりしています。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		伊勢市・志摩市の障害者施策推進協議会こども発達支援部会に参加しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの発達の状況や課題については保護者と面談等で共通理解をしています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者学習会を年3回実施しています。また、ペアレント・トレーニングの要素を取り入れた子どもの関わり方について必要に応じて個別で保護者に話をしています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・利用者負担金等については契約時に丁寧に説明しています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者から聞き取りを行い、意向を確認しています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談に適切に応じ、面談や具体的な支援方法の助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はないが、年2回保護者交流会を実施しています。また、ペアレント・トレーニングや保護者学習会を通じて保護者同士で交流できる機会を作っています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		園だよりを月1回、保健だよりを年4回発行し、おおぞら活動報告だより、専門だよりなどをHPへ掲載しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問支援時以外でも相談に応じ、必要な助言や支援を行っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っています。また、訪問先の都合により再度訪問することもあります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		保育所等訪問支援の実施後に、支援内容の報告書を作成し、家族等に共有を行っています。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル等は策定しています。職員間で発生を想定した訓練を行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画をもとに子どもの安全確保に努めています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、朝礼や職員会議で情報共有を行っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、虐待を防止するために職員の研修機会を確保しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化のための指針を掲示し、職員への研修及び保護者への周知に努めています。	